

SHIN CLUB 271

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「(仮称)北青山三丁目計画」 撮影：アック東京

今月のトーク/monthly talk

新たな発想が生み出される空間

2021年秋頃、弊社で長くお仕事をさせていただいている en one tokyo 様から、「新しい発想を自由に言い合えるような新しいオフィススタイルへの大規模改修工事を検討しているお客様がいらっしゃる」とご相談をいただきました。

地下1階・地上2階の前面ガラス張りが印象的なその建物は、渋谷区北青山に位置し、大通りの喧騒から一本路地を入ったところに建つテナントビルです。弊社は、その1階・2階の内装工事を施工させていただきました。スケルトンの状態から、2階はオフィススペース、1階は NFT* のギャラリースペースとする計画です。

「en one tokyo さんと御施主様はお知り合いで、我々も以前、en one tokyo さんとお仕事をさせていただいたことがあり、そのきっかけで今回のご相談をいただきました。設計を進めている最中、en one tokyo さんから辰さんをご紹介いただき、そこでようやく設計事務所・御施主様・施工会社が繋がって今回の計画がスタートしました。en one tokyo さんが繋いでくれたご縁ですね」と設計を担当した小大建築設計事務所の石川岳氏。

2階は会社オフィスとして、インターンなどで来られた若い人材の新しい発想力を抑制せず、縛られない環境のなかで自由に発言できる開放的な空間に。1階はその新しい事業をギャラリーとして展示会をおこなったり、クライアントや来客時の交流の場にしたいというご要望をいただきましたが、そのイメージを掴み設計図に落とし込むまでは時間がかかったそうです。

「当初『playful : プレイフル』をテーマに、インターンで来られた

高校生や大学生などの若い方々が自由に発言や議論ができたり、デスクの場所も自由で、寝転んで考えたりしてもいいような楽しさが欲しいというご要望をいただいたので、改めて『プレイフルって何だろう』というところから計画がはじまりました」と小大建築設計事務所 代表の小嶋綾香氏。

御施主様から「西海岸っぽい雰囲気です」とお題をいただいたそうで、西海岸の IT 系の会社様のオフィスなどを参考に、カラフルな色を織り交ぜつつ、御施主様のイメージに近づけるよう素材や色を 3D パースで一つずつ確認しながら幾重にも検証を重ねて計画されました。

「御施主様は海外に本社を構えていて、今回日本に移って最初のオフィス計画ということもあったので、せっかくなら日本の要素も散りばめられたら良いのではと考えました。色だけでのプレイフルというよりは、木を使ったり、靴を脱いで使う小上がりとテーブルが一体となった家具を設置したり。照明計画も通常オフィスでは 4000K くらいの真っ白な照明で計画することが多いですが、暖色系の照明を使い落ち着いた雰囲気とすることで『ガッツリ働くぞ』ではなく『リラックスして仕事ができる』ように意識しています」(石川氏)

日本の新しい環境で、新たな発想が生み出される瞬間を、心待ちにしています。

(NFT : Non-Fungible Token : 非代替性トークンの略語)

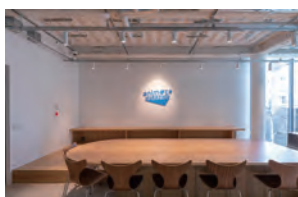
北青山三丁目計画



2階オフィス。ガラスパーテーションで奥行が生まれる



天板などにこだわったテーブル



掘りごたつをイメージした家具

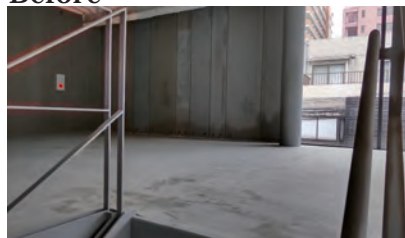


社長室。自然光が差し込む



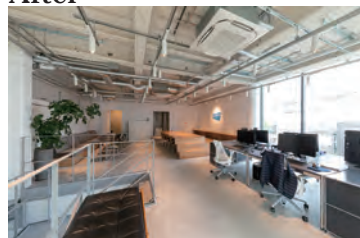
ビデオカンファレンスルーム

Before



スケルトン状態からスタート

After



新たなオフィス

Before



1階施工中。LGS組立作業中

After

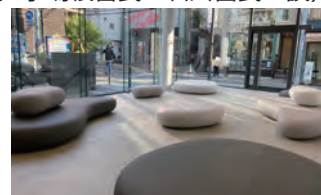


完成した1階ギャラリー

(小大建築設計事務所 / 小嶋綾香氏・石川岳氏 談)



シンメトリーな1階トイレ



美術品のようなソファが並ぶ

「新しい」が生まれる場所

オフィスを設計する上で、企業がどういう理念を持ち、どういった事業をおこなっているのかを意識しながら空間計画を進めているなかで、今回「プレイフル」をテーマに、日本の和風要素や西海岸の雰囲気を保ちつつ、新しいオフィスとなるよう計画した。

ビデオカンファレンスルームと社長室は、前面ガラスからの光の入り具合、階段からの動線も意識し、何通りも検証を重ねた結果前面ガラス側に隣り合わせで計画。こちらのオフィスは御施主様のみならず、他の企業様も使用を予定されているため、階段脇の小上がりなど、誰でも気軽に使えるよう動線上に設置した。

シンプルに見えるレイアウトではあるが、ここに至るまで幾度も検証を重ね出来上がったレイアウトである。

パーテーションはガラス張りにし、空間の奥行と、前面ガラスからの景色を楽しめるように意図している。

「プレイフル」な空間となるよう、家具にはこだわっていて、御施主様・en one tokyo 様とともに、デスクの天板、家具の質感、高さなど、一つずつ決めていった。

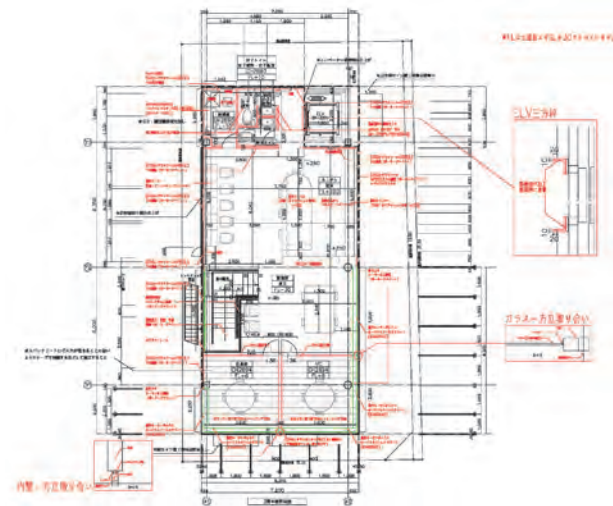
室内奥にある家具は、日本の小上がりをイメージし、靴を脱いで寝転びながら新しい発想を生み出したり、椅子に座りながら雑談をおこなえたりと、デスクに縛られない使い方ができるようになってる。

一階ギャラリースペースには、存在感のある大きな机を設置。NFT 事業で様々な企業様とコラボレーションされたときに打合せなどにも利用できるよう、シンプルでありながら、高級感が出る設計とした。

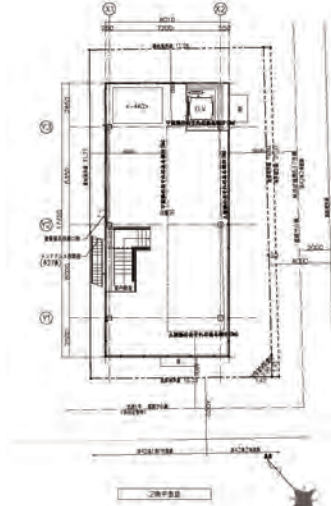
天井は、軽量鉄骨を使用し、ライティングレールのディテールをシャープにすることで、シンプルだがスマートさを感じる造りに。モールテックス塗装を施した机や展示品のような家具を配置することで、外部から見たとき、ギャラリーを使用していなくても「何か展示をおこなっている」と思わせることで、景観も良くなる。

工事計画中、天井の既存換気設備の位置上、照明の位置計画が難航していたなか、辰さんの技術・対応力で計画通り施工できたことが本当に有難かった。

この新たなオフィス環境で、これまで以上に御施主様の会社がさらなる発展・ご活躍をすることだろう。



2階設計図面



既存2階平面図

構造：S造（地下階RC造）
 規模：地下1階・地上2階
 用途：オフィス・ギャラリー
 設計：小大建築設計事務所
 竣工：2022年3月
 施工担当：五十嵐・吉本
 撮影：アック東京



Ayaka Kojima

Gaku Ishikawa



小大建築設計事務所内にて

今月は、(仮称)北青山三丁目計画の設計をされた小大建築設計事務所の小嶋綾香氏と石川岳氏にお話を伺いました。東京と上海にオフィスを構え、世界的に活躍する小大建築設計事務所。新築の設計のみならず、リノベーション特化ブランド「一畳十間」を立ち上げ、古民家再生や新たな空間設計をおこなうなど、幅広く活動されています。2か月ほど前に移転した東京の新事務所も、築50年近い古民家を再生し、「和」を随所に感じられる温かみのあるオフィス空間となっています。

ー東京と上海でオフィスを構えられっていますが、事務所立ち上げの頃から海外進出を考えられていたのでしょうか。

小嶋：実は事務所立ち上げと同時に上海にもオフィスを構えたんです。私と主人(小嶋伸也氏)で小大建築設計事務所を立ち上げたのですが、もともとお互い隈研吾先生の事務所にて、そこで海外プロジェクトを担当していました。特に主人は中国プロジェクトで現地人化してしまうくらい駐在期間も長かったこともあり、その経緯もあって「やるなら同時に」という風になりました。

ーそうだったんですね。日本と中国ではやはり設計の方向性の違いなどはあるのでしょうか。

小嶋：建築に対するお客様の熱量が結構違うかなと思いますね。日本の方は「依頼して造ってもらう」という考えの方が多い印象ですが、中国の方は「一緒になって造る」という感じで、一般のお客様でも材料を発注したり、内装や外装などDIYでご自身で施工される方が多い印象です。工事の案件でホテルやマンション計画をおこなっても事業主側が建設に携わって発注したりというのによくあります。

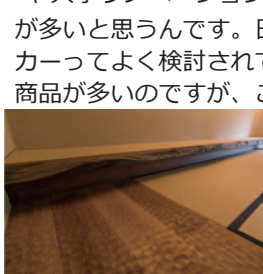
石川：金額や予算に対する価値観も違うかなと思います。日本はまず見積をとって、その決まった金額ベースで始まり、追加・変更などの増減を最終的には予算内で収まるように持っていくのですが、中国の方だと追加・変更やアップグレードで予算からオーバーになる場合、「じゃあその分お金調達してくるわ」と、空間のクオリティを追求して下さいます。

ー新ブランド「一畳十間」を拝見いたしました。建築設計事務所でのリノベーションに特化したブランドとは珍しいですね。

小嶋：設計事務所って一般のお客様からしたら得体のしれないものだと思うんですよ。設計依頼したらどのようなモノが出てくるかも分からないし、設計料がいくらかかるかも分からない。そうなるとやはり大手ハウスメーカーや大手リノベーション会社に行かれる方が多いと思うんです。日本の建材メーカーってよく検討されていて素晴らしい商品が多いのですが、この経済のなかで



「一畳十間」で古民家をリノベーションした事務所内装。名栗加工を施した板面が独特な表情を放つ



家の価格を抑えようとすると安価で決まった素材をカタログから選んで施工していくしか

ないのが実情で。特に30・40代の方々だと子どももいて家庭もあって、経済的に抑えたいと思う方って多いと思うんです。実際そういった方々の住宅を拝見すると、建売だったり自然素材ではない材料を使用していたりと、その土地に合っていない建物が多いように感じられます。そういったところを変えたいと思ったのがきっかけです。なので、まずは設計事務所に頼みやすくするために、リノベーションブランドをつくり設計内容を分かりやすくすることで一般の方がアクセスし易くなれば良いなと思いました。コンセプトは、「建売のような汎用的にならない表情のある素材や自然に変化するものが選べる」としています。あとは、せっかく日本でおこなっているの、日本の文化を取り入れたり和のしつらえを取り入れたり。ブランド化することで同じような素材を使うので価格帯も想像し易くなりますし、私たちも同じような素材を設計に使用することで成長していけるかなと考えました。

ー素晴らしい試みですね。こちらの新事務所もとても温かみのある空間です。

石川：こちら「一畳十間」で設計・施工管理・運営をおこなっています。板材に「名栗(なぐり)」加工で独特な削り跡を残すことで、同じ板材でも温かみと表情を付けています。まだ一部完成していないところもありますが、10月には竣工し、1階は「gallery 一畳十間」として展示会などもおこなっていく予定なので、たくさんの方にお越しいただきたいですね。マンションリノベーションが主だった「一畳十間」が一軒家を改修するにあたり実験的にできたので、今後活かされると思います。

ー現在空き家や手付かずの古民家が増えてきている日本の問題に解決策として一歩進んだように思います。本日はありがとうございます。

小大建築設計事務所

■東京オフィス
〒152-0035
東京都目黒区自由が丘3-14-8
TEL: 03-5432-9794 FAX: 03-6303-3385

■上海オフィス
Room601, 6th Floor, No.1207, Dingxi Road, Changning District, Shanghai
TEL: 021-5465-3637

【受賞歴】

2019 The 17th 2019 International Design Media Award – Annual Hotel Space Award「大山初里 origin villa」
2020 iF DESIGN AWARD 2020 – iF Gold Award 2020「大山初里 origin villa」
2020 dezeen awards 2020 - Emerging architect of the year shortlists 他多数受賞

TOPICS/INFORMATION

「2022年社内イノベーション大会」が開催されました 2022年8月6日(土)

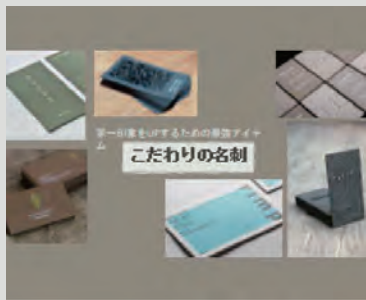
毎年恒例の社内「イノベーション大会」が今年も開催されました。「全社員の創意工夫で、より良い会社を目指そう」をコンセプトに、チーム分けされた社員がプレゼンテーションをおこなう社内イベントです。例年12月の開催でしたが、社内アンケートにより今年は8月の開催となりました。

今年のテーマは各チーム指定された1人の、名前イニシャルから始まる言葉及び文章や英単語をテーマとして自分たちで設定するというもの。お題が自由ということもあり、各チーム個性的で縛られないプレゼンテーションが多い内容となりました。

各チームの持ち時間は5分間。次の4項目について審査員が10満点で採点します。

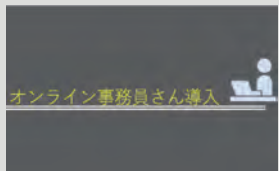
- ①実現性・具体性・リアリティ
- ②独創性・オリジナリティ・画期的
- ③チームワーク・プレゼンテーション
- ④情熱・向上心・改革的

また各チーム1票を持ち票とし、自分のチーム以外へ投票します。1番票を集めたチームへ20点、2番目のチームへは10点が加点されます。審査の結果、次のようになりました。



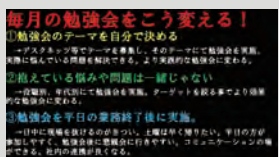
■ 1位:「よろしくおねがいします。」 Nチーム

ビジネスシーンで必ずと言っていいほど重要なのが名刺。個人の名前を覚えてもらうために必要なビジネスツールです。そんな名刺にもっと自身を知ってもらう為にプロフィールが見れるQRコードを載せ、他にない辰らしいデザインにすることで、こだわりの名刺とする提案です。



■ 4位:「Help Work」 Kチーム

常に忙しく業務に追われがちな現場監督。オンライン事務員さんを導入することで職場環境改善を提案します。



■ 5位:「教えて〇〇先生」 Cチーム

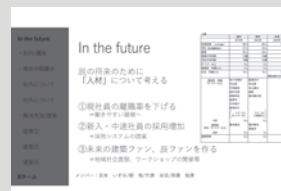
毎月社内でおこなっている勉強会。実施している内容を自分で決めたり、平日夜に変更するなど、勉強会自体をより良くするための提案です。

<チームの部>

- 1位:「よろしくおねがいします。」 テーマ「Y」*賞金¥100,000- (土屋裕一郎・村田雄吾・中村勇行・谷田佑介) 合計得点133点
- 2位:「In the future」 テーマ「I」*賞金¥60,000- (吉本いずみ・郷格・竹原栄吉・斉藤絵美) 合計得点130点
- 3位:「失敗を成功へ」 テーマ「S」*賞金¥30,000 (田中舜一郎・岸崎将大・石井祥太・朴正珉) 合計得点124点
- 4位:「Help Work」 テーマ「H」*賞金¥20,000- (高島洋・畠中広隆・肥田宏美・高沢拓) 合計121点
- 5位:「教えて〇〇先生」 テーマ「O」*賞金¥10,000- (菊野修・井田薫・佐々木健太・尾内健太郎) 合計119点

<個人の部>

- 1位:「作業着のデザイン見直し」 *賞金¥20,000- 野木 玲央菜
- 2位:「熱中症警戒アラート発令」 *賞金¥10,000- 谷田 佑介



■ 2位:「In the future」 Bチーム

辰の未来のために「人材」について深く考え、会社の育成プログラムを確立することで離職率や人材育成などを提案する内容です。



■ 3位:「失敗を成功へ」 Fチーム

失敗は誰にでもあること。それを糧に人は成長していきます。建築現場での失敗例を「振り返りシート」として保存し蓄積していく事で、新たな財産としていく提案です。



入賞チームには代表の岩本より賞金が送られました。各チーム個性的で魅力的な内容でした。入賞したチームの案が実現するのが楽しみでなりません。

右からNチーム/谷田・Bチーム/郷・Fチーム/田中・Hチーム/高沢・Oチーム/井田

「(仮称)代々木5丁目の家」新築工事 上棟式

2022年8月8日



素敵な庭のある個人邸を引き続き安全第一で建築いたします。

構造/規模: RC造/地下1階・地上3階
用途: 専用住宅
設計: 今永環境計画
施工担当: 中村・田中
完成予定: 2022年12月

「エストラルゴ渋谷」新築工事 お清め式

2022年8月10日



渋谷駅から10分程度の好立地に新しいマンションが建ちます。

構造/規模: RC造/地上4階
用途: 共同住宅
設計: ハル アーキテクト一級建築士事務所
施工担当: 鯨津・鈴木・野木
完成予定: 2023年4月

編集後記

かねてより病氣療養中でございました、弊社前代表の森村和男が、9/25に逝去いたしました。ここに生前中賜りましたご厚誼に深く感謝し、謹んでご通知申し上げます。

(株)辰通信 Vol.271 発行日2022年10月10日
編集人: 本間夏来/村上由衣 発行人: 岩本健寿
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS 渋谷ビル5F TEL:03-3486-1570
FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp



「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーもPDFで掲載しています。スマホはこちらから→

